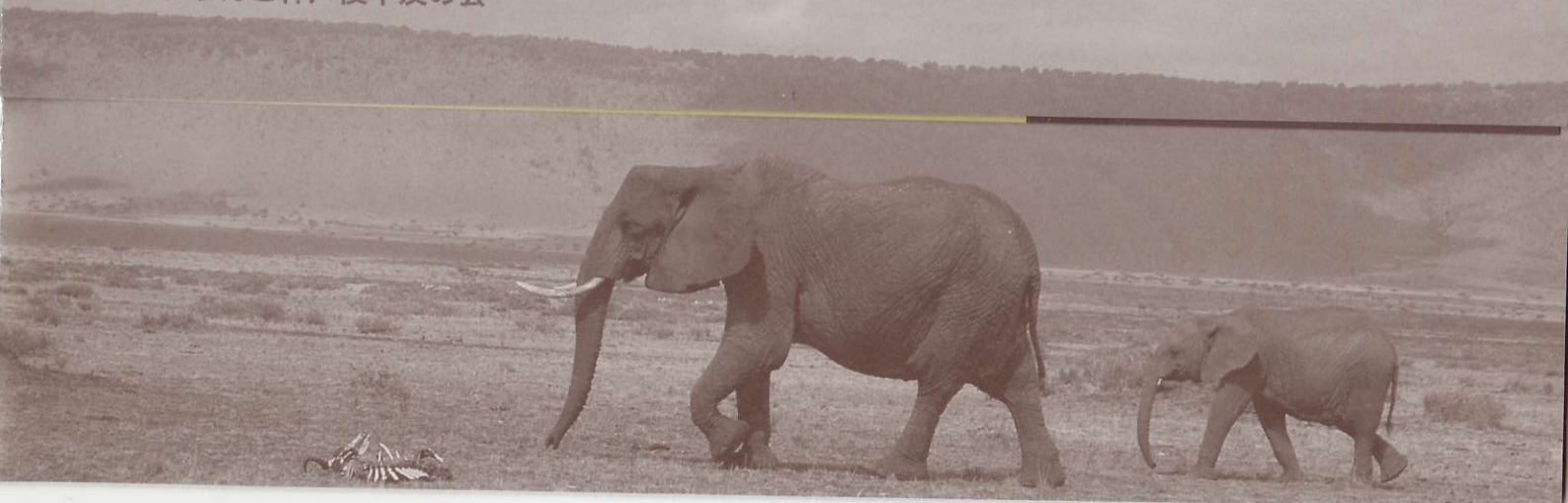


母なるアフリカのために...

AFRICA KAMBE SHUMPEI Fellowship

—アフリカと神戸俊平友の会—



1971 年、野生動物にあこがれてアフリカを旅し、
そのまま 35 年以上、獣医師として、
アフリカの人びとと野生動物のために 今日も…





マサイの伝統的な生活を 維持するための家畜診療活動

野生動物と共存しているマサイの伝統的な放牧生活。その糧となっている家畜の「牛」は、マサイのもっとも貴重な財産です。その牛をはじめとする家畜の管理は、マサイの伝統的な生活を守る上でとても重要です。現在もツェツェバエが媒介する眠り病やダニ熱、口蹄疫などの伝染病による病害は、深刻な問題となっています。診療活動を月数回定期的に行っています。



マサイのウシ診療の様子



着飾ったマサイの婦人達



口蹄疫にかかったウシの口



割礼を受けたマサイの少年たち



コンテナに入れてゾウのトランスロケーション



治療のため麻酔をかけたサイ



交通事故にあった希少種のストライプドハイエナ 密猟罠が首にかかって死んだオリビ



トルカナ湖で保護し動物孤児院で育ったチータ

野生動物の保全と診療活動

人間の生活が野生動物生息地に侵入してきたことが原因で、野生動物と地域住民との間で大きな軋轢が生じています。ケニア野生動物公社では、人の生活と野生動物を守るためにアフリカゾウやサイを、地域と共存できる安全な場所へ移動させているトランスロケーション活動を行っています。時間の許すかぎり獣医としてこのプロジェクトにボランティアとして参加。移動後の影響についてモニタリング活動も独自で展開する予定です。

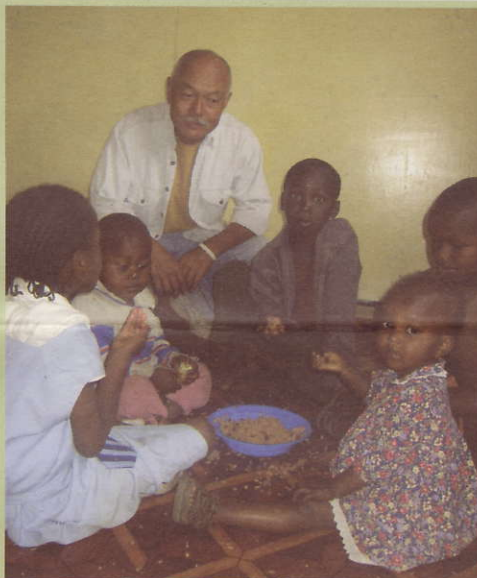
伝染病における家畜と野生動物との相互感染や密猟の針金罠にかかった野生動物の治療など、野生動物と地域住民が共存していくための診療活動を行います。



肥大化する貧困層のための スラムでの支援活動

アフリカでは、年間 300 万人がエイズで死亡しています。スラムで生活する母親はミルク代を稼ぐために、売春を選ばざるをえず、エイズの拡大につながっています。アフリカのどの都市も貧困によるスラムが形成されていて、人々は職や金を求めて売春、泥棒、スリで暮らさざるを得ません。

スラムの生活の改善に寄与するためエイズのカウンセリング活動やスラムの子どもたちへの給食活動、そして野生動物が見られる国立公園で自国を知るための環境教育活動など、今日の目で起こっている貧困問題に対応しています。



スラムの子どもたちへの給食活動



スラムを流れるゴミで汚染された川



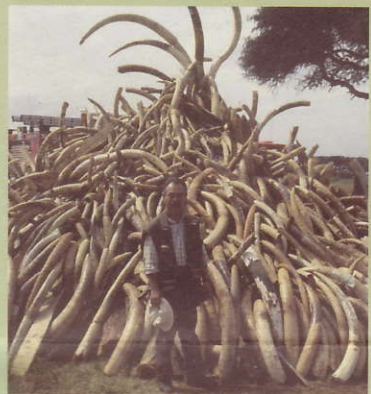
HIV / エイズカウンセリング



左足が瘰癧にかかったエイズ患者



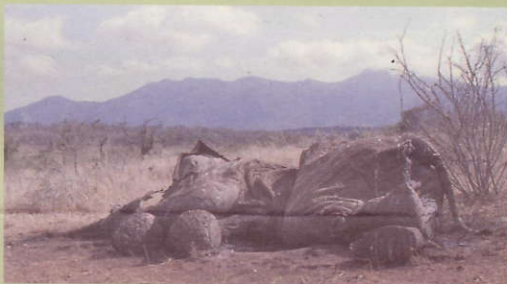
アジアのマーケットに並ぶ象牙製品



象牙の国際取引禁止キャンペーンのために燃やされる象牙の山



日本の ODA で建設中のソンドミリュウ水力発電所



密猟者に殺されたゾウの死骸

日本とのつながりを アフリカの地域住民の立場で伝える

・開発と援助

日本からの政府開発援助（ODA）がケニアでどのように使われ、ケニアのためになっているかを見つめています。日本からの援助のほとんどが大型ダム建設や高速道路の建設など、環境に大きな影響を与えるプロジェクトに使われ、開発による貧富の差が貧困層の拡大につながっている現状などを日本に情報発信しています。

・野生動物の商取引

日本をはじめとするアジアのマーケットなどに売られている野生動物の製品。売れる需要があると、密猟の増加につながります。アフリカゾウの象牙をはじめ、ワシントン条約をめぐる取引の動向や市場の動向によって、アフリカにいる野生の動植物に大きな影響をあたえている現実を伝えます。

本当のアフリカを知る サバンナゼミ・ ケニアスタディツアーの開催

アフリカと神戸俊平友の会では、アフリカへの神戸俊平の熱き思いを直接皆様に伝えるべく、サバンナゼミ・ケニアスタディツアーを実施しています。サバンナゼミは春と秋の年 2 回（日本開催）、スタディツアーは毎年 2 ～ 3 月の開催です。（企画：アフリカと神戸俊平友の会、ゼミ主催：人と自然の研究所）

サバンナで繰り広げられる野生動物たちの営みを感じ、野生動物と共存している伝統的な地域社会（マサイ族）を学び、アフリカと日本とのつながりを問い直す中で、目の前にある貧困問題を考える、サバンナゼミとアフリカへ実際の現場を訪ねるケニアスタディツアーです。



サバンナでのキャンプ生活



サバンナで生活するライオン家族



ゼミではアフリカの様々なことを学ぶ



伝統的な生活を送るマサイ族の住居



スラムの子どもたちとともに





アフリカと神戸俊平友の会とは

ケニアで活動する神戸俊平（かんべしゅんぺい）を支援するため、1994年9月に創設されたNGO（民間市民組織）です。すでに10年以上が経ちました。

日本では主に資金を集めてアフリカへ送金しています。そのため会費や賛同費・ご寄付をくださる会員や支援者の方を募っています。応援してくださった資金は、ケニアでの野生動物の密猟防止活動などの保全活動、環境破壊を防ぐ保全活動、スラムの子どもたちの給食活動、エイズカウンセリング、マサイの家畜の防疫などに使われます。

● 会員・ご賛同者の募集

現在370名ほどの応援してくださる方がいらっしゃいます。毎月1,000円ずつご協力いただく方、半年、一年まとめて送金くださる方など様々です。

● ボランティアの募集

・ ケニアでの活動

語学力（英語、できればスワヒリ語）、技術（動物病院勤務経験者など）のある若い方が、常時1名くらい助けてくださるとうれいです。

・ 日本での活動

年に数回のイベントのお手伝いや、会報の発送など東京の事務局でもお手伝いいただけると嬉しいです。

● 協力グループ

- ・「ワールドランナースJapan」・「アマニアアフリカ」（スラムの給食活動を定期的に支援してくれています）
- ・「キ・アフリカ」
- ・「CanDo（アフリカ地域開発市民の会）」
- ・「アフリカ日本協議会」
- ・「野生動物獣医師会」
- ・「日本アフリカ学生協議会（現地責任者）」
- ・「FoE Japan」
- ・「メコンウォッチ」
- ・コロンビア大学稲田先生 他

● アフリカと神戸俊平友の会 役員

- 会 長 ヒサクニヒコ
- 運営理事 神戸 俊平
- 理 事 久田 雄治
- 理 事 野口 理佐子



プロフィール

かんべしゅんぺい
神戸 俊平
ケニア在住 獣医

1946年、東京生まれ。1968年、日本大学農獣医学部卒業。福島県酪農共同組合の獣医として3年間勤務したのち退職。退職金を手に念願のアフリカへ渡る。

アフリカ各地を野生動物を求めて放浪した後、1976年ナイロビ大学大学院獣医科マスターコースに入学。苦学の末、ケニアの日本人獣医師第一号となり、ナイロビ市内で動物病院を開業。

その後、ナイロビ郊外で地域住民（マサイ族）の家畜のボランティア診療を開始。牛に眠り病を伝染させるツェツェバエの被害の深刻さを知り、ナイロビ市内での獣医業を閉業し、マサイの家畜の診療、ツェツェバエコントロール（薬剤などを使った駆除は環境に大きな被害を与えるため、ツェツェバエの生態や生息地域などを調査しコントロールすることによって被害を抑える計画）に力を注ぐ。

これをきっかけに日本国内に「アフリカと神戸俊平友の会」が設立され、現在「アフリカと神戸俊平友の会」支援によってケニアの抱えている諸問題（野生動物・環境保全活動、マサイの家畜診療、スラム貧困問題）などの活動を展開中。1997年、毎日新聞社・国際交流賞を受賞。

【著書】

- 「チンパンジーのキキ」 小学館 1978年
- 「ボクとキキのアフリカ・サファリ」 旺文社 1982年（日本児童文芸家協会新人賞受賞）
- 「ドリトル先生は一年生」 講談社 1983年
- 「サバンナに生きる」 岩崎書店 1983年
- 「ケニアのどうぶつこじいん」 文研出版 1986年
- 「熱血！動物のお医者さん」 ポプラ社 1991年
- 「サバンナの話しよう」 時事通信社 1999年
- 「アフリカゾウ56頭移動大作戦」 学研 2002年
- 他

【テレビ出演など】

- 「さよならキキ」 NHK 1987年
- 「日本人獣医奮闘記」 テレビ東京 1993年
- 「夢の扉」 TBS 2006年
- 「地球アゴラ」 NHK BS1 2009年



「アフリカと神戸俊平友の会」では、
活動をサポートして下さる
会員や支援者を募集しています。

応援していただいた資金はアフリカへ送金し、ケニアでの野生動物の
密猟防止活動などの保全活動、環境破壊を防ぐ保全活動、スラムの子
どもたちの給食活動、エイズカウンセリング、マサイの家畜の防疫な
どに使われます。

また、年3回発行（予定）「ナイロビ通信」の配布、毎年2回ほど
帰国する神戸俊平を迎えての講演会・イベントなどのお知らせをいた
します。

【会費】

1ヶ月…1,000円 6ヶ月…6,000円 1年…12,000円

何口でもよく、また随時ご自由なご協力でも結構です。

※ ナイロビ通信の中で年に1度会計報告をいたします。

【お申し込み方法】

郵便振替用紙に必要事項をご記入のうえ、ゆうちょ銀行でお振込みください。

追ってこちらからお礼状をお送りさせていただきます。

ご協力お願い致します。

<http://www.s-kambevvet.org>

※ このパンフレットは古紙100%・白色度70%の紙を使用しています。資源の有効活用に、ご理解・ご協力をお願い致します。



AFRICA KAMBE SHUMPEI Fellowship
アフリカと神戸俊平友の会

日本窓口

〒150-0047 東京都世田谷区世田谷2-19-2

野口 理佐子 E-mail: risako@bio-inste.com

会計・会員管理

日本税制改革協議会 (JTR) 内

Tel 03-6277-8297 Fax 03-5545-0931

ケニア事務所

P.O.Box 9549 00100 GPO

Nairobi Kenya

Tel 020-272-2329

0722-767731 (携帯)

E-mail: kambesan@hotmail.com

